

報道関係各位

2024年7月29日

「交通広告グランプリ 2024」各賞が決定！

グランプリに輝いたのは・・・

Netflix 合同会社『ジャイアント猿桜像』



JR 両国駅をジャックした、メディアプロモーション部門の作品が初めてグランプリに輝きました！

「交通広告グランプリ 2024」（主催：(株)ジェイアール東日本企画、協賛：東日本旅客鉄道(株)、JR 東日本メディア(株)、後援：(公社)日本鉄道広告協会）の受賞作品が決定し、本日（7月29日）ホテルメトロポリタン池袋にて贈賞式が行われました。

最高賞であるグランプリは、メディアプロモーション部門より、Netflix 合同会社『ジャイアント猿桜像』が受賞いたしました。各部門の最優秀部門賞、JR 東日本賞は下記7作品が受賞しました。

- ・デジタルメディア部門は麒麟ビール株式会社の『麒麟 上々 焼酎ソーダ』
- ・車両メディア部門はJR グループの『魅力上等いばらき』
- ・駅メディア部門は鳥羽市温泉振興会の『海女の湯治場 鳥羽』
- ・駅サインボード部門はサントリーホールディングス株式会社の『サントリー-BOSS 自販機ガコン缶コーヒー』
- ・空間プロデュース部門はアディダス ジャパン株式会社の『「走り心地、ぶっちぎり。SUPERNOVA」』
- ・メディアプロモーション部門は一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の『ちゃんと隠さないと、個人情報とは特定される。』
- ・JR 東日本賞は国立大学法人 弘前大学の『学ぶ街は、暮らす街でもある。』

【受賞作品数】 計38点

※グランプリ1点、各部門より最優秀部門賞1点、優秀作品賞5点及び、JR 東日本賞1点の計38作品を選出します。

部門	最優秀部門賞	優秀作品賞	対象ユニット
デジタルメディア部門	1	5	車両デジタルメディア、駅デジタルメディア 等
車両メディア部門	1	5	中ぶり、まど上、ドア横、ステッカー 等のポスター類、車体広告 等
駅メディア部門	1	5	駅ポスター、SP メディア
駅サインボード部門	1	5	駅サインボード
空間プロデュース部門	1	5	新宿ウオール456、AD トレイン、集中貼り 等
メディアプロモーション部門	1	5	交通媒体の特性を活かした展開や、交通媒体を基点とした複合的なプロモーション展開

賞名	広告主名	タイトル (仮)
グランプリ	Netflix 合同会社	ジャイアント猿桜像
デジタルメディア部門	最優秀部門賞	麒麟ビール株式会社 麒麟 上々 焼酎ソーダ
	優秀作品賞	株式会社パルコ 2023 PARCO GRAND BAZAR 広告
		リシュモンジャパン株式会社 カルティエ TIME UNLIMITED-カルティエ ウォッチ 時を超える
		メルセデス・ベンツ日本合同会社 DEFINING CLASS
		ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 LUX Real Me ID Project
東日本旅客鉄道株式会社 自分の世界に、まだない場所へ。		
メディア部門	最優秀部門賞	JRグループ 魅力上等いばらき
	優秀作品賞	公益財団法人東日本鉄道文化財団 東京ステーションギャラリー みちのく いとしい仏たち
		大塚製薬株式会社 「言葉は栄養である」篇
		日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター 献血は命を救う贈り物
		サントリーホールディングス株式会社 「帰れば、金銭。帰る人はがんばった人だ」篇
東京商工会議所 検定事業部 検定センター e c o検定「有料のレジ袋を買った。本当に傷んだのは、財布ではなく、地球環境だった。」		
駅メディア部門	最優秀部門賞	鳥羽市温泉振興会 海女の湯治場 鳥羽
	優秀作品賞	ロート製薬株式会社 ロートジー vs ストリートファイターII
		株式会社イエローハット これくらい、大きかったら気がつけるのに。
		株式会社アメイズプラス 【枕営業】という言葉を永眠させたい。
		株式会社メルコイン 100万UU突破記念広告
株式会社白泉社 白泉社創業50周年広告「白泉社でおぼえてください。」		
駅サイネージ部門	最優秀部門賞	サントリーホールディングス株式会社 サントリーBOSS 自販機ガコン缶コーヒー
	優秀作品賞	D I C株式会社 カール・アンドレ 彫刻と詩、その間
		株式会社横浜岡田屋 クリスマスにかこつける
		日清シスコ株式会社 シスコ60周年「ちょいゆる朝食のすすめ。」
		森永製菓株式会社・森永乳業株式会社 森永のお引越し
日本テレビ放送網株式会社 100回、夢でありつづけた。		
プロデューサー部門	最優秀部門賞	アディダス ジャパン株式会社 「走り心地、ぶっちぎり。SUPERNOVA」
	優秀作品賞	株式会社ポケモン ポケモン かいふく Days
		株式会社MIXI モンスター10周年広告『イコトありすぎて怖いよモンスター』
		株式会社正栄デリシイ チョコジローがいつもの電車にやってきた！
		一建株式会社 一駅間で全12話イッキ見！『ハジメとケンとセツ』
株式会社 インターメスティック いこう、あたらしい世界。		
プロモーション部門	最優秀部門賞	一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 ちゃんと隠さないと、個人情報特定される。
	優秀作品賞	ヒガシマル醤油株式会社 関西人は歌える広告
		富崎県 世界遺産 by 富崎牛
		サントリーホールディングス株式会社 Water Positive！ ずっとずっと、水と生きてゆけますように。
		アデコ株式会社 ハケンに夢を。
株式会社ニューバランスジャパン Run your way.		
JR東日本賞	国立大学法人 弘前大学 学ぶ街は、暮らす街でもある。	

【審査作品数】 計1,506点

【弊社コーポレートサイトでの受賞作品介绍】

弊社コーポレートサイト内の特設サイトにて、受賞作品の紹介をおこなっております。ぜひご覧ください。

「交通広告グランプリ2024」特設サイト ⇒ <http://awards.jeki.co.jp/>

◆ 「交通広告グランプリ 2024」概要 ◆

主催 : 株式会社ジェイアール東日本企画
協賛 : 東日本旅客鉄道株式会社、JR 東日本メディア株式会社
後援 : 公益社団法人日本鉄道広告協会

【応募対象】

2023年4月1日から2024年3月31日までに、(株)ジェイアール東日本企画が販売・管理を行っている駅および車両(「JR 東日本」「つくばエクスプレス」「りんかい線」「ゆりかもめ」「JR 貨物」および「しなの鉄道」)のメディアならびに「街ナカサイネージ」に掲出・放映された広告作品

【応募部門】

- (1) デジタルメディア部門
- (2) 車両メディア部門
- (3) 駅メディア部門
- (4) 駅サインボード部門
- (5) 空間プロデュース部門
- (6) メディアプロモーション部門

【応募資格】

上記【応募対象】にご出稿いただいた広告主・広告会社・制作会社および制作者の方
(自薦・他薦いずれも可)

【審査日】

2024年5月8日(水)～2024年5月27日(月)

【審査員】

審査員長	仲畑 貴志	様	コピーライター/クリエイティブディレクター
審査員	川口 清勝	様	アートディレクター
〃	副田 高行	様	アートディレクター
〃	田中 里沙	様	事業構想大学院大学学長
〃	照井 晶博	様	コピーライター
〃	国井 美果	様	コピーライター/クリエイティブディレクター
〃	上西 祐理	様	アートディレクター/グラフィックデザイナー
〃	杉田 知洋江	様	フォトグラファー
〃	竹島 博行	様	東日本旅客鉄道株式会社 執行役員/マーケティング本部 副本部長

お問合せ先

(株)ジェイアール東日本企画 メディアソリューション本部内「交通広告グランプリ」事務局

Mail : taa@jeki.co.jp

◆ 歴代のグランプリ受賞作品 ◆

- 2006年 森永乳業株式会社『Lipton 2005 summer』
- 2007年 ソフトバンクモバイル株式会社『PANTONE ケータイ』
- 2008年 株式会社日本放送出版協会『NHKテキスト「きょうの料理」放送50年キャンペーン』
- 2009年 株式会社ショウゲート『私がクマにキレた理由』
- 2010年 株式会社白夜書房『内田裕也 俺は最低な奴さ』
- 2011年 福井市『一乗谷 DISCOVERY PROJECT』
- 2012年 株式会社ビームス『ビームス35周年「恋をしましょう」クリスマスキャンペーン』
- 2013年 大塚製薬株式会社『とどけ、熱量。』
- 2014年 株式会社日本経済新聞社『日経電子版 やわらか経済NEWS』
- 2015年 公益財団法人ユニジャパン『第27回 東京国際映画祭』
- 2016年 グラクソ・スミスクライン株式会社『ワキの多汗症は、お医者さんへ。』
- 2017年 株式会社ポーラ『Pola Dots Train』
- 2018年 薩摩酒造株式会社『白波 この地球の日々たちへ。』
- 2019年 凸版印刷株式会社『IMAGINE 2020 Printed By TOPPAN「2020年夏、42.195km。」』
- 2020年 アディダス ジャパン株式会社『速さは、ひとつじゃない。』
- 2021年 株式会社クレディセゾン『「落としたコイン・男性」篇 「落としたコイン・女性」篇』
- 2022年 サントリーホールディングス株式会社 『「青空みたいな星で。」篇』
- 2023年 日本チューインガム協会 『よく噛んで生きよう。』

2024年 Netflix 合同会社 『ジャイアント猿桜像』

◆ 「交通広告グランプリ」の経緯 ◆

「交通広告グランプリ」の原点は、1956年（昭和31年）から開催された「秀作車内ポスター展」まで遡ります。同展は東京近郊の国鉄・私鉄・都電に掲出された車内ポスターの中から選ばれた優秀作品が一堂に会する、当時としては大規模な広告展示会でした。「国鉄広告展」、新幹線の車内や駅を対象とした「新幹線広告展」が相次いでスタート。それらを段階的に統合する形で、1989年（平成元年）に㈱ジェイアール東日本企画主催による「JR東日本ポスターグランプリ」が誕生しました。2006年（平成18年）にJR東日本の他、つくばエクスプレス、りんかい線、ゆりかもめ、JR貨物、しなの鉄道に掲出された作品も審査対象として、「交通広告グランプリ」に名称を変更しました。